



6. 「安全安心な地域」づくり

(40) 奈良県緊急防災大綱の推進
(41) 災害時の避難所整備と運営の改善

これまで

- ・他地域の災害に学び、平成31年4月に「奈良県緊急防災大綱」を策定しました。
- ・市町村が避難所の適切かつ円滑な設置や運営を図ることを目的に「奈良県避難所マニュアル」を策定し、これをモデルとして、市町村に対して独自のマニュアル策定を働きかけてきました。(県内25市町村で策定(R1年12月時点))

もっと良くするために

- | | |
|------------|---|
| 避難行動・避難生活 | ・「自らの命は自らが守る」住民避難行動の実現、地域の災害リスクの周知徹底 |
| 防災拠点・ハード対策 | <ul style="list-style-type: none"> ・大規模広域防災拠点の整備を推進 ・「防災・減災、国土強靭化のための3か年緊急対策」を活用した計画的・重点的な防災対策の推進 |
| 避難所の環境改善 | <ul style="list-style-type: none"> ・避難所での良好な生活環境等の確保、安定的な運営維持のため、設備の充実や物資・資機材の備蓄等の推進 ・避難所に指定されている県立学校の環境整備 ・災害派遣福祉チーム(DWAT)の充実強化 |

目指す姿

奈良県で災害が起きても、犠牲者を出さないようにします。

最近、毎年のように全国各地で災害が起きているけれど、奈良県では十分に備えができているのかな？



幼稚園での奈良県いっせい地震行動訓練(奈良市)

水害や土砂災害の被害をできるだけ少なくするよう、様々な対策が進められています。でも、災害から身を守るためにには、私たち自身も家族や地域で話したり、訓練に参加したりするなど、備えをしておくことが大切ですね。



主な取組

取組

令和2年度

令和3年度

令和4年度

市町村国土強靭化地域計画策定支援

県・市町村が連携し策定を推進

県・市町村が連携し計画に基づく取組を推進

住宅・建築物の耐震化施策の推進

住宅・建築物の耐震化施策の推進

避難所における生活環境の整備

防災備蓄倉庫・簡易トイレの整備

避難所生活のために必要な設備を順次整備

避難所に指定されている県立学校の環境整備

県立学校体育館へのWi-Fi設置・体育館等への多目的トイレ設置



7. きれいな奈良県づくり (42) なら四季彩の庭づくりの推進

これまで

「奈良県を『一つの庭』と見立てた、四季折々の彩りを愉しむ庭づくり」を理念として、なら四季彩の庭づくりを推進してきました。

作庭方針

- 調和のとれた「一つの庭づくり」…小庭(エリア)を整えつつ、全体調和に配慮
- 地域の景観資産を活かした庭づくり…水辺、田園、森林・山岳、歴史文化遺産等
- 四季折々の彩りの庭づくり…四季を感じさせる植物種の選択等
- 人が楽しむ庭づくり…見る、くつろぐ、歩く、感じる、遊ぶ、体を動かす等
- 庭づくりを続けるために…様々な主体による連携・協働

小庭(エリア)整備計画

- 県内の主要な名所やその周辺等で「小庭(エリア)」を選定(現在60箇所)
- 全小庭(エリア)で「整備方針図」を作成
- 具体化が進むと作庭処方図を作成(現在264箇所)

もっと良くするために

「(仮称)なら四季彩の庭づくり条例」を令和2年に制定し、庭づくりを体系的・継続的事業として推進します。

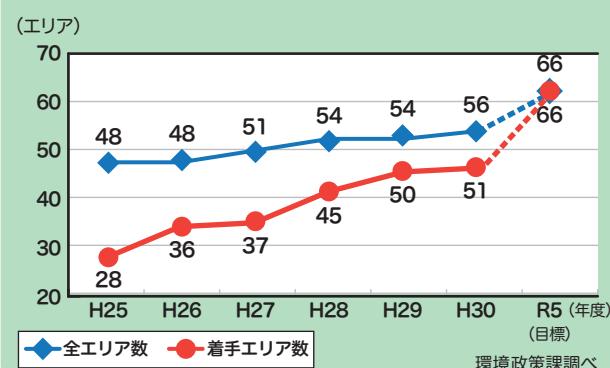
目指す姿

令和5年度までに奈良県植栽計画のエリア数を66エリアに増やし、全エリアにおいて事業着手します。

奈良県植栽計画(「なら四季彩の庭」づくり)が平成25年度に策定されてから、選定されたエリアが増えているね。奈良らしいきれいな植栽景観をつくろうとする取組が、県全体に広がっているんだね。



奈良県植栽計画のエリア数・着手エリア数(累計)



住む人も訪れる人も楽しめる植栽景観をつくるため、全てのエリアでの事業着手を目指して、市町村や住民等との協働を進めます。ふるさとの景観づくりの主役は私たち一人一人です。



主な取組

取組

令和2年度

令和3年度

令和4年度

奈良県植栽計画
(「なら四季彩の庭」づくり)
の推進

新規エリア等の検討・計画、事業推進、好事例集の作成、
市町村・住民等との協働スキームの構築・推進

植栽等による景観の向上に取り組む市町村等に対し技術・財政支援

普及・啓発

シンボルマークプレートの設置、ジャーナルの発行、ホームページの運営



8. くらしやすいまちづくり (49) 奈良県のすまい方改善

これまで

住宅地の劣化が各地で見られ、住宅地のリニューアルが必要となってきています。これまで県営住宅を中心にリニューアルをしてきました。

- ・民間郊外住宅地に関し、空家の利活用・除却、リフォーム促進等に関し、技術的助言や情報提供等の支援。
- ・住宅セーフティネットの核となる県営住宅の更新及び周辺のまちづくりに着手。
- ・県営住宅の管理に民間活力を導入(指定管理者制度)。管理の質・稼働率の向上を推進。



もっと良くするために

民間サービスの活用による住まい・暮らし支援の枠組みの検討を進めます。

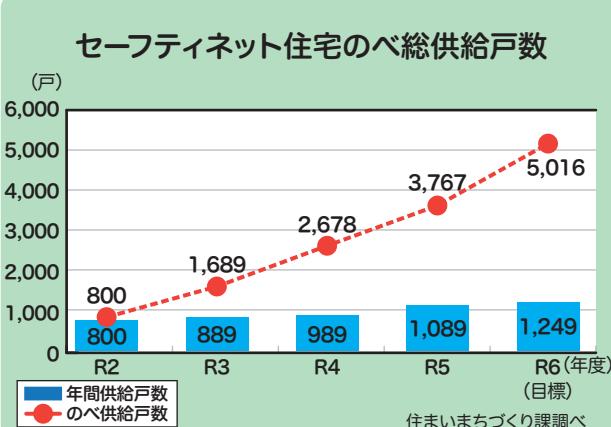
高齢者への生活支援、住宅地の陳腐化対策(世代の代謝)について下記の検討を進める。

- ・福祉機能・商業機能の提供(地区レベルで一定の生活機能の確保)
- ・民間事業者による見守り支援・買い物支援の取組展開
- ・「より高い利便性を有する場所での暮らし」の選択肢を提供(高齢者等を拒まない民間賃貸住宅・サ高住の普及促進)
- ・子育て・若者世代への「身近な職」「身近な生活サービスの提供」
- ・若者の住み替え支援(住宅ストックの継承、空き家流通促進)
- ・県営住宅の更新、民間活力導入による周辺まちづくり

目指す姿

令和6年度までにセーフティネット住宅の県内のべ総供給戸数を5,000戸/5年にします。

誰もが安心して暮らせる住まいを確保するために、セーフティネット住宅の供給数を増やすことは大切だね。



そのため、県と市町村が公営住宅の整備をしたり、民間賃貸の空き家を活用し、セーフティネット住宅の供給数を確保していく必要があります。



主な取組

取組

桜井県営住宅の建替整備
(近鉄大福駅周辺地区
まちづくり)

令和2年度

第1期
建築工事

令和3年度

第2期
建築実施設計

令和4年度

除却
工事

文化財
調査

第2期
造成工事

住生活基本計画・県民生活
ビジョン等の見直し

長寿命化計画の更新

住生活基本計画の更新

県民生活ビジョンの更新

居住支援協議会の活用

居住支援に対するニーズ把握、福祉団体等との連携
セーフティネット住宅へ民間賃貸住宅の登録の促進に向けたPR



9. 地域で子どもを健やかに育てる (54) 子育て不安の解消

これまで

【奈良県の子育て不安の実態】

- 子育て中の妻の約半数が子育ての不安感・負担感を感じており、家事や育児の分担は約8～9割が妻に偏っています。

【課題】

- 専業主婦率、核家族率全国1位の奈良県においては、母親の子育ての不安感・負担感の増大が「産後うつ」「虐待」につながる恐れがあります。

【取組】

- 妊娠期からの切れ目のない子育て支援を強化するための市町村体制整備・充実

もっと良くするために

「家庭」と「地域」を親が安心して子育てできる環境に変えます。

- 市町村とともに妊娠期からの切れ目のない子育て支援を推進します。
- 企業とともに家族が喜びをわかつち合う子育てモデルを広めます。
- 官民総力で子どもが家庭と地域の力により、大切に育まれる環境をつくります。
- 子育て環境の向上は出生率の向上に繋がることを意識しながら、「奈良県すべての子ども健やかはぐくみプラン」の具体的な施策を推進していきます。

目指す姿

令和5年度までに子育てに心理的・精神的な不安感・負担感を感じている母親の割合を40%以下にします。

奈良県のお母さんの
子育ての不安感・負担感は
なかなか軽減しないんだ
ね!



子育てに心理的・精神的な不安・負担を 感じている母親の割合※



子育て中の親が安心して子
育てできるよう、地域のみ
んなで子育て家庭を支
える体制を整えていきます。



※は数値が低い方が良くなる指標です。

主な取組

取組

令和2年度

令和3年度

令和4年度

妊娠期からの
切れ目のない子育て支援

地域の子育て支援の充実、地域子ども・子育て事業への支援、市町村子ども家庭
総合支援拠点設置促進、子育て世代包括支援センター体制整備

多様な主体による
子育て支援環境の整備

企業との連携による子育て応援活動の普及、
「なら子育て応援団」の情報発信、地域の子育て支援大学との連携

男女が互いに尊重し合い
喜びを分かち合う
子育ての促進

企業との連携による父親の子育て参画の促進



10. 女性活躍の推進 (58) 女性の働き方改革と仕事場づくり

これまで

- ・奈良県女性(20~64歳)の就業率は、全国最下位(62.8%)であるものの、平成22年から5年間の伸び(6.3ポイント)は全国1位です。
- ・第1子出産後も仕事を継続する割合が平成25年から5年間で4割から5割に増加しました。
- 女性の希望をかなえ、女性が活躍できる気運醸成の環境を整備するため、「なら女性活躍推進俱乐部」を設立しました。
登録会員数114企業(577事業所) ※令和2年1月現在
- 「なら女性活躍推進俱乐部」企業等と連携し、県内の女子大学生や再就職を希望する女性の就職や活躍し続ける意識の醸成に取り組みました。

もっと良くするために

女性が就労により能力を発揮できるよう、企業や女性に向けた取組により、企業での活躍や起業等様々な働き方での女性活躍を推進します。

- ・女性活躍が進む企業や、まだ知られていない県内企業の魅力を発信します。
- ・再就職や若年女性に企業を知る機会を提供したり、再就職の準備段階からの支援を行います。
- ・異業種交流会等で女性活躍の先進事例を横展開するとともに、企業の女性管理職の登用等を支援します。

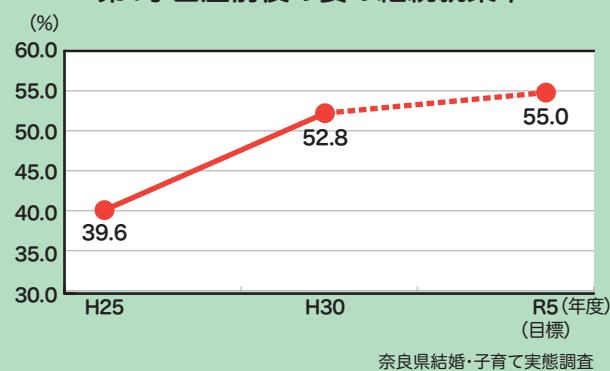
目指す姿

令和5年度までに第1子出産前後の妻の継続就業率を55%にします。

出産後も仕事を辞めないで働き続ける女性が増えているんだね！



第1子出産前後の妻の継続就業率



県内の企業は女性に働き続けてもらうため、時間休暇など様々な工夫をしています。県内企業による働きやすい工夫や企業の魅力をもっと発信していきます。



主な取組

取組

令和2年度

令和3年度

令和4年度

企業とともに進める女性活躍の推進

「なら女性活躍推進俱乐部」と連携した会員企業と女性のマッチング支援、会員間交流による女性活躍の横展開の推進、女性のキャリア継続・キャリアアップ支援

女性への再就職準備相談等の様々な就業支援

女性のための再就職準備段階からの相談・支援、働く女性への相談・支援

起業をめざす女性に対する支援

創業支援団体等とともに女性の起業支援をトータルコーディネート



11. エネルギー政策

(62) 県内水素ステーション設置・バイオマス利活用の体制強化

これまで

- ・近畿で唯一県内に水素ステーションがないため設置が必要です。
 - ・環境にやさしいエネルギーの利活用が必要です。
- 木質バイオマスの普及促進等、再生可能エネルギー源の活用を推進しています。
大学と連携し、地域の資源を地域で循環させる仕組みを検討しました。

もっと良くするために

- ・県内初の水素ステーション整備に向けた取組を行います。
- ・木質バイオマスの普及促進などを行います。

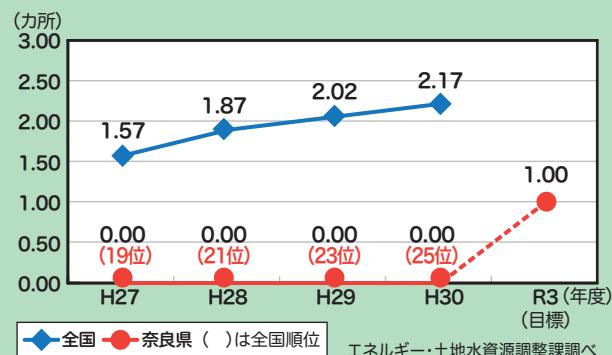
目指す姿

令和3年度までに県内初の水素ステーション開設に向け、民間企業を支援します。

全国では、国の水素基本戦略の「2020年に160箇所を開設する」という目標の達成に向けて、水素ステーションの整備が進んでいるんだ。



水素ステーション設置箇所数



水素社会の実現に向けて、奈良県に水素ステーションを設置してくれる民間企業を応援します。



主な取組

取組

令和2年度

令和3年度

令和4年度

水素ステーションの整備支援

整備に対する支援

●県内で初の水素ステーション開設

バイオマスエネルギー普及促進

木質バイオマスエネルギー普及促進